



主な内容

- ①～⑥……地震に立ち向かう3つのキーワード 自助・共助・公助
- ⑦……アドバンスコップADSホール催物、やなせ宿催し
- ⑧……市民意識調査結果 名張での暮らしをどう感じていますか？

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

入館無料 名張市防災センター
防災体験学習コーナー

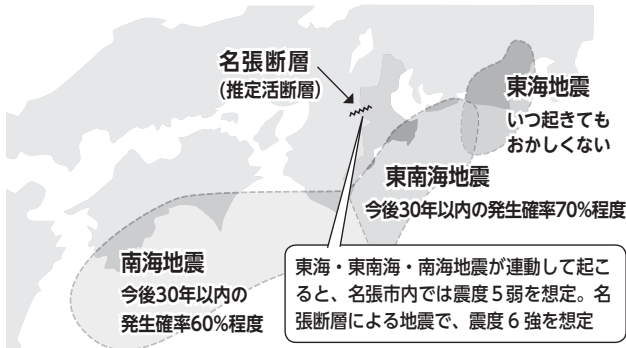
まずは、落ち着いて！
身の安全を守るには…

じ、地震だー！

開館時間 午前9時～午後5時
※体験時間は30分～1時間程度
毎月第3日曜日、年末年始は休館
場所 防災センター1階(市役所隣)
予約方法 7人以上の団体の場合は、電話で名張消防署(☎63-0999)へ事前に予約してください。6人以下の場合は直接来館されても利用可能ですが、なるべく予約をしてください。



防災体験学習コーナーを訪れた小学生が、真剣な表情で消火器体験。昨年7月のオープン以来、入館者数は3,800人を超えた。



名張市民の3分の2は災害に備えていない!

昨年7月にオープンした名張市防災センター。1階にある防災体験学習コーナーには、消火器の扱い方や応急手当を学ぶ設備や、地震が起きたときの行動を体験できるリビングなどがあります。

「東日本大震災以降、来館者も

特集 **地震に立ち向かう3つのキーワード**

自助・共助・公助

3月11日、東日本大震災が発生し、多くの皆さんは、地震に対する備えが必要だと感じたのではないでしょうか。今号では、「自助」「共助」「公助」という3つのキーワードから、地震に立ち向かうために、いま何ができるのかを考えます。

図 危機管理室 ☎63-7271

「自分たちの身は自分たちで守ろう」という意識の高まりを感じます」と話すのは、案内役の福田剛士さん。「社会見学でここを訪れた小学生が、再び家族と一緒に来てくれたり、自主防災の担当者が、地域の皆さんを大勢連れて来てくれたりすることも増えましたね。非常持出袋の中身や名張断層などについて熱心に質問を受けることも多く、ぜひ、ここで学んだことを家庭や地域で実践してほしい」と訴えます。

その一方で、今年4月に実施した市民意識調査では、3分の2の人が「地震などの災害に対して備えていない」と答えているのも事実です(詳しくは8ページ)。



地震による名張市内の被害想定は?

東海・東南海・南海地震は、それぞれ百数十年周期で発生しています。しかし、東海地震だけが、150年近く発生していないため、いつ起きてもおかし

一方、活断層の可能性もある名張断層が、万が一地震を引き起こすと、名張市内で震度6強が想定され、建物の倒壊や山崩れなどが起きる危険性があります。

市では、こうした地震に対応するため、新消防庁舎建設のほか、避難所の耐震化、木造住宅の耐震診断を進めるとともに、防災関係機関との連携、非常食や毛布の備蓄などに取り組んでいます。

しかし、災害への備えに万全はありません。また、東日本大震災は、想定を超える災害であったといわれています。地震に立ち向かうためには、自分の身は自分で守る「自助」、そして、地域で助け合う「共助」は不可欠なのです。

2ページ以降へ続く

【補足】東海地震は直近で1854年発生。東南海地震は1944年、南海地震は1946年に発生。東海・東南海・南海地震の発生確率は、地震調査研究推進本部の長期評価を参照。市内の震度想定は、三重県地域防災計画被害想定調査データブックを参照。名張断層による地震の発生確率は、過去の発災記録が存在せず不明



地震に立ち向かうキーワード1

自分と家族を守る

自助

ジジョ

防災の基本は、自分の命や家族の命を、まずは自分で守ること。

地震が起きるまでに「いま」できること、そして、地震が起きたら何をすべきなのか見直しておきましょう。

▼地震が起きるまでに「いま」できること

避難準備

荷物がすぐに取り出せるウェストポーチには、常用薬や救急キット、消毒薬、ティッシュなどを準備しよう!

生存を知らせるホイッスルも準備。すぐ身に付けられるようにしましょう!

水と食料は、最低3日分を準備(水は1人1日3リットル)。水など重いものはキャリーケースを利用するのもよいでしょう。



大規模災害時に救援活動が本格化するであろう3日前後の備蓄をし、すぐに避難できるようにしておこう!

持ち運びが便利なリュックに、現金や健康保険証の写し、認め印、衣料(下着含む)、雨具、タオル、歯ブラシなどを準備しておこう!

ケガや火傷を避けるために避難時は、長袖・長ズボン、軍手、ヘルメットで防御

足元を明るく照らす懐中電灯はすぐに持ち出せるように。ラジオ付きのものだとさらに便利です!

底が厚めで歩きやすい靴をすぐに履けるところへ

転倒防止

事前に家具などの転倒を防ぐことで、自分の身を守り、家から外へ出る逃げ道も確保しよう!



L字金具や支え棒などでしっかり固定。特に普段寝ている場所付近の家具が倒れると圧死の危険性も。そして、家具の上には、重いものを置かないように!

扉には開閉防止金具を! 皿などが飛び出すと、逃げる際に危険です。ガラスには飛散防止フィルムを。

板やダンボールなどを家具の下に差し込んで、壁などに寄りかかるようにすると転倒防止に効果あり。

家族で開いておこう! 防災会議

非常持出袋の中身は、各家庭によって異なります。赤ちゃんがいれば、粉ミルクやおむつが必要でしょう。また、保管場所や持ち出す人、家の中の危険箇所も違ってきます。まずは、家族で防災会議を開いて、災害時に何を備えるべきなのか考えておきましょう。



避難場所を再確認!

避難地 地震による大規模火災が起きた時など、一時的・緊急的に避難をする広大な場所(学校のグラウンドや大きな公園など)

避難所 災害発生後に自宅に住めなくなった場合や、台風接近時など継続的に避難をする場所(学校の体育館や公民館・市民センターなど)

地域	施設名	避難所	避難地
名張	名張小学校	○	○
	名張中学校	○	○
	保健センター	○	
	名張公民館	○	
	名張高等学校	○	○
	総合福祉センター ふれあい	○*	
	平尾山カルチャーパーク		○
鴻之台希中央	市民情報交流センター	○	
	鴻之台3号公園		○
蔵持	蔵持小学校	○	○
	蔵持公民館	○	
	武道交流館 いきいき	○	
梅が丘	梅が丘小学校	○	○
	梅が丘市民センター	○	
薦原	薦原小学校	○	○
	薦原公民館	○	
美旗	美旗小学校	○	○
	北中学校	○	○
	美旗市民センター	○	
比奈知	県立特別支援学校 伊賀つばさ学園	○	○
	比奈知小学校	○	○
	滝の原小学校	○	○
	すずらん台小学校	○	○
すずらん台	すずらん台市民センター	○	
錦生	錦生小学校	○	○
	赤目小学校	○	○
赤目	一ノ井市民センター	○	
	赤目中学校	○	○
	箕曲小学校	○	○
箕曲	箕曲公民館	○	
	勤労者福祉会館	○	
	名張中央公園		○
	名張西高等学校	○	○
百合が丘	百合が丘小学校	○	○
	百合が丘市民センター	○	
国津	国津小学校	○	○
	(旧)長瀬小学校体育館	○	○
桔梗が丘	桔梗が丘中学校	○	○
	桔梗が丘小学校	○	○
	桔梗が丘公民館	○	
	名張桔梗丘高等学校	○	○
	桔梗が丘東小学校	○	○
	桔梗が丘南小学校	○	○
	桔梗が丘南公民館	○	
こども支援センター かがやき	○		
つつじが丘	つつじが丘小学校	○	○
	つつじが丘公民館	○	
	南中学校	○	○
近畿大学工業高等専門学校	近畿大学工業高等専門学校		○

※総合福祉センターふれあいは、体の不自由な人を特に優先する「福祉避難所」に指定しています。

【補足】市長が発令する避難のお願いは3段階に分かれます。▼避難準備情報…体が不自由など、避難に時間が必要な人は避難を始めてください。▼避難勧告…区域内にいる人は避難してください。▼避難指示…避難勧告よりも緊急度が高い場合に発令します。

名張市防災センターに展示されている地震被害イメージ



情報入手方法を再確認!

■ 広報車・サイレン

避難勧告などの発令時、該当する区域内を広報車が巡回してお伝えします。また、小学校などに設置したサイレンが「約1分間鳴る⇒5秒休止」を繰り返します。ただし、避難勧告などの発令がなくても、危険だと感じた場合は、自らの判断で避難してください。

■ FMなばり (83.5 MHz)

市は、災害時に「FMなばり」で避難勧告発令などの情報を提供します。

★毎週月曜日 午後零時15分から防災情報を発信中
※災害時の緊急割り込み放送のテストを兼ねています。

■ 防災ほっとメール

①緊急メールを配信

市が災害対策本部を設置した際、避難や災害情報を携帯電話に電子メールでお知らせします。

1,700人以上が
すでに登録済!

②災害情報などを掲載

避難場所の開設、被害状況などの情報をご覧いただけます。避難場所を検索することもできます。

③救急医療情報を掲載

二次救急実施病院などの情報をご覧いただけます。

登録方法 <http://www.anshin-bousai.net/nabari/>に接続するか、右のQRコードを読み込んでください(登録無料)。



▼ 地震が起きたら何をすべきか?



テレビやラジオなどで緊急地震速報が発表されてから、強い揺れが到達するまでの時間は数秒から数十秒。速報を聞いたり、地震を感じたりしたら、周りの人に声を掛けながら、落ち着いて机の下に隠れるなど、まずは、自分の身を守りましょう。地震による強い揺れは長くても1分程度です。その間は身を守り続けましょう。



揺れがおさまった後も、自分の身を守ることが大切です。ガラスなどが飛び散っていることがありますので、スリッパや靴を履きましょう。そして、火元を確認。コンロの火を消し、ガスの元栓を閉めます。出火していれば初期消火しましょう。次に、家族の安否を確認し、ドアや窓を開けて、逃げ道を確認しましょう。



地震の規模が大きいと情報は錯綜します。FMなばりなどで、正確な情報を得るようにしましょう。避難する場合は、看板や瓦などが落ちてくることもあるので、落ち着いて行動しましょう。また、停電復旧の際に火災が起きることが多いので、電気のブレーカーは落としておきましょう。

被災地しおがまからの証言 ② >>

情報が錯綜する中、正確な情報発信を心がけました

コミュニティFMバイウエーブ 横田 善光さん

地震と津波により、塩竈市内は停電。テレビは見られない、携帯電話も充電できないという状況でした。当FM局も津波で放送できなくなりましたが、2日後には地元ケーブルテレビ局や市の協力を得て、仮設アンテナを設置。塩竈市役所内でFM放送を再開し、避難所や給水所の情報、安否情報などを発信することができました。

情報が錯綜する中、正確な情報提供を心がけ、市民の皆さんからもとても助かったと喜ばれましたね。また、市にガソリンが届くが、保管するドラム缶がない、とFMで呼びかけると、ラジオを聞いていた人が市にドラム缶を提供するなど、災害時における身近なFM局の必要性を実感しました。



被災地しおがまからの証言 ① >>

非常持出袋を多くの人が用意していれば...

塩竈市婦人防火クラブ連合会 会長 小林 真佐子さん

東日本大震災では、塩竈市の避難者数は想定3倍となる約9,000人になりました。市が備蓄していた食糧は被災1日目にして底をつきました。

婦人防火クラブでは、皆さんに非常持出袋を用意してもらえよう、日ごろからFM放送での啓発や、地域の防災説明会で実際に中身を見てもらおうといった活動を続けてきました。

しかし、避難所に非常持出袋を持ってきていた人は、ほんのわずかで、実際に困っている人がたくさんいました。「FMを聞いて、非常持出袋を用意していたよかった」と声を掛けられたときはうれしかったのですが、もっとたくさんの方が用意していればと思うと残念です。非常持出袋を全ての人に用意してもらえようこれからも訴えていきます。



名張市が、5月から9月まで、避難所運営や、被害家屋調査、道路復旧などの支援を行った宮城県塩竈市。今号では、地震や津波により、死者47人という甚大な被害を受けた塩竈市の被災者からの声を紹介します。

【補足】 避難勧告などの発令時に鳴るサイレンの設置場所…名張小学校、蔵持小学校、薦原小学校、新田ポンプ庫、下比奈知ポンプ庫、滝之原ポンプ庫、安部田ポンプ庫、赤目ポンプ庫、箕曲公民館、国津園デイサービスセンター、長瀬公民館、消防本部、桔梗が丘分署、つつじが丘出張所

地震に立ち向かうキーワード② 共助

みんなで助け合う

キョウジョ



大規模災害時には、地域で助け合うことが不可欠です。地域で災害に備える取組みを行っているお二人に、活動の中身や思いを伺いました。



地域一丸となった取組みで、災害時に孤立する人を出さないようにしたい

■ 多田 昭太郎さん
名張地区まちづくり推進協議会 会長

したが、地域全体で取り組むべきものと考え、区長と民生委員・児童委員が協力して地域全体で取り組むことになったのです。

高齢化が進む中、地域全体で災害に備える

名張地区は、平成22年10月現在、75歳以上の高齢者のみの世帯が253世帯、70歳以上の一人暮らしが310人。災害時、避難するのに援助を必要とする人が多く住む地域です。

名張地区では、災害時に一人も見逃さない、という思いから、平成20年1月に、名張地区社会福祉協議会の取組みとして、区長5人と民生委員・児童委員5人で「要援護者登録とマップ作成委員会」を発足させました。

この取組みは、民生委員・児童委員が始めようとしたもので

毎年10月に民生委員・児童委員が行う高齢者の実態調査に合わせて、70歳以上の一人暮らし、75歳以上の高齢者のみのお宅に、要援護者の登録をしませんかと声をかけました。ほとんどの人が「災害時のことを考えると不安なので、とても心強い」と喜んで登録してくれました。また、名張地区には、アパートや集合住宅で一人暮らしをする人もたくさんいます。中には、区に加入していない人もいますが、災害が起これば、区に入っているかどうかは関係ありません。そういった人も含めて声をかけ、同意をいただいた人を要援護者として登録しています。

こうした聞き取りの集大成となるのが「要援護者マップ」です。住宅地図を使用し、登録者宅にシールを貼って要援護者が一目で分かるようにしています。シールの色で、70歳以上の一人暮らし、75歳以上の高齢世帯、障害者やその他見守りが必要な世帯に分けています。マップは、区長

と民生委員・児童委員が保管して災害時の安否確認に役立てます。しかし、災害時には、区長や民生委員・児童委員だけではすべての要援護者に対応するのは不可能です。そのため、一人の要援護者に対して近所に住む二人に支援をお願いしています。

地域の事業に参加し、顔の見える付き合いを

災害時に助け合うためにも、「向こう三軒、両隣」といった昔の近所付き合いに戻していくことが大切です。支援が必要な皆さんには、地域の中で顔を知ってもらうようにしてほしいですね。

わたしが、一人暮らしのお宅を訪ねたときには、老人会の行事や公園の掃除などにお誘いしたり、地区内に6カ所ある高齢者ふれあいサロン「よつてだ〜こ店」を紹介したりしています。まずは、自分の好きなことから地域の活動に参加してほしいと思います。

さらに、名張地区まちづくり



民生委員・児童委員の福山悦子さんと、災害時に支援が必要な人を把握する「要援護者マップ」を確認

被災地しおがまからの証言③ >>

ハザードマップを全戸配布し、町内会の全員が無事避難

塩竈市芦畔町町内会 会長 小林 勝衛さん



塩竈市芦畔町では、平成18年に町内会のハザードマップを作成し全戸に配布しました。マップには、倒れる恐れがあるブロック塀の場所、崩れるかもしれない崖、消防車が通れない道など危険箇所を書き込みました。また、住民が最初集まるように決めた一時避難場所も掲載してあります。これをもとに避難訓練を実施しました。



また、マップの裏面を利用して地震が起きたときの行動や、非常持出品についても記載し、住民みんなで防災意識を高めていました。

こうした取組みが生かされて、町内会の全員が無事避難でき、ほっとしています。

7月に発足した「隠おたがいさん」のメンバー。会員の宮本定さん(87歳/前列左から2人目)は「災害時も自分のできる範囲で助け合っていきたい」と話す。

推進協議会では7月に高齢者などの生活支援を行う有償ボランティア組織「隠おたがいさん」を発足させました。これは、名張地区在住で家事の手伝いや草取りなどができる人と、利用希望者が会員登録をし、会員が相互に助け合い、安心して暮らせる地域をつくるという取組みです。

これからも、いろいろな取組みを通じて顔の見える付き合いを広げ、災害時に孤立する人を出さない地域になるよう活動していきます。





防災訓練で、アルミ缶を利用した簡易式ランタンを作成。防災に活用できるユニークなアイデアを取り入れるなど、参加者が楽しめる訓練を心掛けている。

新潟県中越地震が起きた際、テレビで住民が助け合った小さな集落では被害が少なかったことを知りました。また、近所で阪神・淡路大震災を体験



17世帯でつくる自主防災チーム

会場まで徒歩1分。近所の17世帯による防災訓練は、身近で取り組みやすい

■ 高橋 忠男さん

つつじが丘南6番町
第4班自主防災チーム代表



した人がいて、隣近所での協力の大切さを聞く機会がありました。

そこで、わたしたちも何かできないかと話し合い、つつじが丘南6番町第4班の全17世帯で自主防災チームをつくり防災訓練をすることになったのです。訓練会場は、すべての人が歩いて1分以内に来ることができ空き地です。遠くで実施される大きな訓練よりも気軽に参加できると思います。6年前から毎年かかざり訓練を実施していますが、毎回ほとんどの世帯の人に集まっていたと思っています。

地域の多くの人が訓練に参加することで、お互いの顔が分かりますし、家族の近況や「寝たきりの人が、玄関に入っずすぐの部屋にいる」など避難するときに必要な情報も交換できます。

訓練には楽しめる要素も取り入れる

これまで、各戸を巡回して避難を呼びかける訓練や応急手当、テントの設置、炊き出し訓練などを行ってきました。身近な人たちと身近な場所で行う訓練ですので、比較的取り組みやすいのではないでしょう



消防署が実施する「応急手当講習会」を訓練に取り入れ、近所に住むみんなが応急手当での知識を確認する



訓練を生かし、班全員で助け合い

万が一、大規模災害が起きたときには、訓練会場である空き地に第4班の17世帯全員が集まります。そして、自分たちの班で逃げ遅れた人がいないかを確認することになっています。日ごろの訓練を生かして、慌てることなく助け合いができればと思います。

か。また、訓練に継続して参加してもらうために、子どもから大人まで参加者みんなが楽しめる要素を取り入れたいと思っています。例えば、炊き出し訓練では、薪や生木で火をおこすところから始めます。必死になりながらも、みんな喜んで取り組んでいましたね。また、テレビや新聞などから防災に活用できるユニークなアイデアを取り入れていきます。今年は、食用油をしみ込ませたティッシュをアルミ缶に入れた簡易式ランタンをつくりました。

被災地しおがまからの証言 ⑤ >>

日ごろからの近所付き合いが大切と実感

塩竈市在住 齊藤 清子さん
(82歳／一人暮らしの高齢者)



3月11日、地震が起きたとき、怖くて怖くて玄関の柱にしがみついていた。すると、隣に住む20歳代の青年が「大丈夫か」と声を掛けてやってきてくれたんです。とっても心強かったですね。

また、避難所の生活は雑魚寝で大変なので、できるだけ家で過ごすことにしました。でも、食べ物や燃料がほとんどありません。そんなとき助けてくれたのも近所の皆さんでした。水や食べ物を家まで持ってきてくれたのです。本当に安心できましたし、感謝しています。日ごろの近所付き合いが大切だと実感しましたね。

被災地しおがまからの証言 ④ >>

島民全員が顔見知り。「回結力」が大きな力になりました

塩竈市浦戸桂島 区長 内海 桑蔵さん



桂島(塩竈市の松島湾にある島)では、年1回防災訓練を行い、地震が起きたら、まず高台に逃げるといった訓練を繰り返して行ってきました。

3月11日、地震の大きさで、大きな津波がくることは予想できました。島民全

員が顔見知りです。どこにだれが住んでいるかが分かっているので、身体の不自由な人を介助するなどして、すべての人が高台の小学校に避難することができました。桂島では、約半分の家にあたる約40軒が津波の被害に遭いましたが、一人の死者もでなかったのが何よりでした。避難所でも、みんなが文句一つ言わず仮設トイレの掃除を順番で行いました。



島の約半数の家屋が津波被害に遭う

避難も避難所の運営も島の「回結力」が大きな力になったと思います。

地震に立ち向かうキーワード ③

市の果たす役割

特集

公助

コウジョ

災害時は、市、消防、警察などにより救助活動や支援物資の提供が行われます。ここでは、災害に備える市の取組みをご紹介します。

市の災害への備えとは？

発災時は、他市や事業所などと連携し対応

災害が起きる、また、起きる恐れがある場合、市は災害対策本部を立ち上げて、被害情報の把握、避難勧告などの発令、救命・救助といった災害対応を実施します。ただし、大規模災害時、市だけの対応には限界があります。そこで、さまざまな団体と連携して対応することとしています。

例えば、大阪府交野市、奈良県香芝市、和歌山県橋本市と、災害時に食糧や医薬品などの物資を相互に援助し合う協定を締結。岐阜県関市とは職員派遣などに関する協定を結んでいます。

また、市内の136の事業所に「名張市防災協力事業所」として登録いただき、災害時は、人命救出や技術者の派遣などのほか、食料品、衣料品などの提供や、空き地や空き部屋などを避難場所として活用させていただくなど可能な範囲で協力いただきます。

そのほかにも、ライフライン復旧にかかわる協定や、緊急車両の通行に妨げとなる車両を排除する協定などを関係機関と結び、災害時に備えています。



災害に備えた地域の取組みを支援します

地域の防災活動を支援し、一体となって取り組むことも、市の重要な役割の一つです。市では、地域での防災訓練の手順や方法について相談に応じているほか、「出前トーク」として地域へ出向いて防災について説明したり、消防職員が応急手当ての指導をしたりしています。



後悔しないための備え。できる範囲で行動を

東日本大震災の被害状況を見て、多くの人が「地震はいつ起きてもおかしくない。自分も被災するかもしれない。」と思ったのではないのでしょうか。

「プライバシーなどの問題から名簿作りの同意を得ることが困難」といった意見が市に寄せられていました。そこで、平成22年2月、「災害時要援護者支援制度」をスタートさせました。

この制度により、市は、災害時に自力避難が難しい人を事前に把握。本人の同意を得た上で、災害時要援護者の登録(名簿の作成)を行います。名簿は、支援体制の整った地域づくり組織に提供し、安否確認や、避難誘導など災害時の助け合いに活用させていただきます。

また、災害時要援護者の登録をしていただいた人には、「FMなばり」の緊急放送を自動的に受信・起動する「防災ラジオ」をお渡ししています。



市の防災備蓄品

市は、災害時に備え、非常食や毛布などを備蓄しています。また、被災すれば、協定を結んださまざまな団体からも支援物資が届けられます。ただし、地震の規模や発生状況で、非常食などが不足すること考えられますので、各自で非常持出袋などを用意しておくことが大切です。

市の備蓄倉庫

- ▼非常食(アルファ米) [約10,000食]
- ▼乾パン [約400食] ▼毛布 [1,900枚]
- ▼粉ミルク [13.6kg]
- ▼簡易トイレセット [45セット]
- ▼ブルーシート [約200枚]
- ▼発電機 [28台] ▼投光器 [28台] など

※毛布と非常食の一部は被災地へ送付。送付分は納品待ち

各避難所

- ▼毛布 [20~80枚] ▼発電機 [1台]
- ▼投光器 [1台] ▼燃料携行缶 [1個]
- ▼携帯式非常用照明 [2台]
- ▼コードリール [1台]

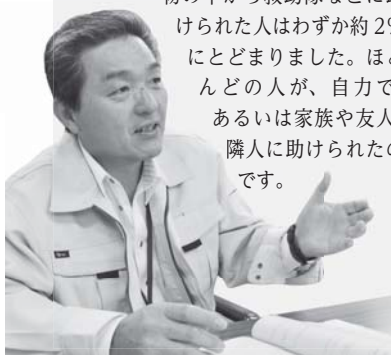
地域と市が連携を深め、迅速で的確な災害対応へつなげたい

災害が発生した際には、市は全力で災害対応を行います。東日本大震災のように被害が大きくなると、消防を含めた行政の支援(公助)は行き届かない可能性があります。阪神・淡路大震災でも倒壊建物の中から救助隊などに助けられた人はわずかに約2%にとどまりました。ほとんどの人が、自力で、あるいは家族や友人、隣人に助けられたのです。

そこで、市では自分の身は自分で守る「自助」や自分たちの地域は自分たちで守る「共助」の必要性を皆さんに訴えかけています。さらに、迅速で的確な災害対応につなげていくためには、地域から市へ詳細な被害状況を報告いただいたり、市から地域へ避難や被災時の生活情報を提供したりするなど、地域と市の情報共有が欠かせません。

今後は、各地域と市が合同で防災行政無線の送受信訓練や、避難所の開設・運営訓練などを実施することが必要だと考えています。これからも災害時に備え、地域(共助)と市(公助)の連携を深められるよう取り組んでいきますので、皆様のご協力をお願いします。

危機管理室 室長 藤岡 善光



はないでしょうか。しかし、記憶は風化していきま。震災のことを忘れることなく、今日からでも災害への備えを始めてください。いざという時に「備えをしておけばよかった」と後悔してからは遅いのです。

災害時、市はできる限りの対応をしますが、被害が甚大で広域に及ぶと、すぐに支援に結びつけることが難しい場合もあります。自分の身は自分で守る「自助」、地域で助け合う「共助」。一人ひとりができる範囲で行動に移していくことが、自分や愛する人を守ることにつながるはず。



出前トーク受付中 防災をテーマに市職員が地域に向いてお話しします。市内在住・在勤・在学の10人以上のグループで開催日の2週間前までに広報対話室(☎63-7402)へ要申込

塩竈市桂島 5月15日撮影

アドバンスコープ ADSホール **催物**

☎ 64-3478

■ **御詠歌奉詠大会** ◎入場無料
 日時 11月1日(火)
 午前9時30分～午後3時30分
 豊山流大師講三重教区本部(峯山)
 ☎ 65-0141

■ **第7回よるひるカラオケのついで**
菅 彦太ショー
 日時 11月3日(水) 午前11時～午後4時
 入場料 1,000円
 関 バリ建プロモーション ☎ 66-3124

■ **第4回川名よう子チャリティーショー**
 日時 11月6日(日) 午前9時30分～午後6時
 ◎入場無料
 関 川名 ☎ 090-1567-6101

■ **秋の装い着付発表会** ◎入場無料
 日時 11月12日(土) 午後2時～4時
 関 愛和会(大井) ☎ 65-4390

■ **日比野マンドリンアンサンブルコンサート**
「五感」に響け!!
 日時 11月13日(日) 午後2時～午後4時30分
 入場料 一般1,000円 高校生以下500円
 関 菅生 ☎ 090-3930-5568

■ **第16回ピアノ発表会** ◎入場無料
 日時 11月19日(土) 午後1時30分～4時
 関 五島 ☎ 66-5779

■ **JA伊賀南部招待会**
 日時 11月20日(日)
 午後2時～3時40分、5時～6時40分
 ◎招待券が必要
 関 JA伊賀南部配送センター ☎ 65-7200

■ **名張市教育フォーラム** ◎入場無料
 日時 11月23日(水) 午後1時～5時
 関 教育総務室 ☎ 63-7849

■ **宝くじ文化公演**
グレン・ミラーオーケストラ
 日時 11月24日(木) 午後6時30分～8時30分
 ※入場券完売。当日券の販売無し
 関 アドバンスコープADSホール
 ☎ 64-3478

なせ宿 催し

関 旧細川邸 やなせ宿 ☎ 62-7760

☆ **第1回やなせ宿郷土史講話会**
 日時 10月22日(土) 午後2時～4時
 テーマ 松阪しょんがいが音頭から見た名張
 藤堂家の代官 福井文右衛門
 講師 松鹿 昭二さん(名張市教育委員会委員)
 ◎参加費無料。事前申込不要 ※月曜日休館

離乳食の進め方や試食

生後9ヵ月からの **離乳食** 教室

日 11月2日(水) 場 保健センター
 時 午後2時～3時30分 所 (朝日町)
 ◎健康支援室(☎ 63-6970)へ要予約

男性の料理初心者の皆さんが対象
「男の料理教室」を開催

日時 11月26日、12月17日、平成24年1月21日、2月4日、3月3日(全5回)
 午前10時～午後2時
 ※すべて土曜日、時間変更の場合あり

場所 武道交流館いきいき(蔵持町里)
 対象 市内在住、在勤で男性の料理初心者
 定員 16人 ※先着順
 参加費 1,000円/回(材料代)
 申込 11月18日(金)までに電話で問い合わせ先へ
 関 人権・男女共同参画推進室 ☎ 63-7559

「第5回美し国三重市町対抗駅伝」出場者を募集

平成24年2月19日開催の市町対抗駅伝(津市・伊勢市間)の名張市チームとして出場希望者は長距離記録会に参加してください。
長距離記録会(代表選手選考対象レース)

日時 11月26日(土) 午前9時～受付
 場所 市民陸上競技場(夏見)
 種目 ▼小学5・6年生(男子1,800m、女子1,200m) ▼中学生(男子3,000m、女子2,000m) ▼高校生(男子5,000m、女子3,000m) ▼一般(男子5,000m、女子3,000m)

対象 市内在住、在勤の人 参加費 無料
 申込 11月18日(金)までに、総合体育館に備え付けの申込用紙に必要事項を記入し同窓口へ
 ※競技実績のある人で、選考対象レースに参加できない場合は、11月29日(火)までに総合体育館にある用紙で申し込んでください。

関 市陸上競技協会(清水)
 ☎ 080-3814-0380

「モンキードッグ訓練講習会」受講者を募集

サル追い払い犬としての「適正予測テスト」を実施し、特に問題がなければ訓練士が定期的に講習を実施します。
 ※受講無料。開催日は後日、受講希望者と協議して決定
 対象 飼い犬と一緒に参加できる人
 申込 10月25日(火)までに電話などで問い合わせ先へ
 関 農林振興室 ☎ 63-7625

市役所庁舎食堂の運営事業者を募集

市役所庁舎を利用される人の利便向上と職員の福利厚生を目的として設置している食堂の運営事業者を募集します。
募集期間 10月17日(火)～31日(土)(土・日曜日を除く)
貸付期間 平成24年1月1日から1年間 ※更新あり
 ◎応募方法など詳しくは、電話で問い合わせ先へ
 関 人事研修室 ☎ 63-7315

講演会「おもしろい人生のススメ! 笑う門にはカネ来る!」

「無料でプレゼント!今すぐ会場に...」。「今買わなければ損をする」。あやしい投資の話、インターネットでのトラブルなど身の周りには危険がいっぱい。分かっているようで分かってないお金の話—。

関西で大ブレイク!テレビやラジオでおなじみの、いちのせ かつみさんを講師に迎え、大切なお金の話について、あなたも笑って楽しんで学びませんか?

日時 11月5日(土) 午後1時15分～3時15分
 場所 市役所1階大会議室
 定員 100人 ※先着順 参加費 無料
 申込 10月31日(木)までに電話、ファクス(64-2560)、電子メール(madoguchi@city.nabari.mie.jp)で問い合わせ先へ
 関 総合窓口センター ☎ 63-7416

11月14日(月)～20日(日)は 全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間

夫やパートナーからの暴力、職場などでのセクシュアルハラスメント、ストーカー行為など女性の人権に関するさまざまな問題についての相談を電話でお受けします。相談は無料で、秘密は厳守します。

受付時間 午前8時30分～午後7時 ※土・日曜日は午前10時～午後5時
 相談員 津地方法務局職員または人権擁護委員

女性の人権ホットライン
 (ゼロナゼロのホットライン)
 ☎ 0570-070-810

津地方法務局人権擁護課
 ☎ 059-228-4193

「ニュースポーツセミナー」参加者募集

日時 11月12日(土) 午前9時～午後4時
 場所 総合体育館(夏見)
 内容 チェックボール、ロープジャンプ
 対象 17歳以上で健康づくりやニュースポーツに関心のある人 参加費 無料
 申込 11月7日(木)までに総合体育館備え付けの申込書に必要事項を書き、三重県レクリエーション協会(〒514-0002 津市島崎町3-1)へ ※ファクス(059-246-9801)でも申込可
 関 (社)三重県レクリエーション協会
 ☎ 059-246-9800

「青年海外協力隊経験者と語ろう 協力隊ナビ IN なばり」を開催

青年海外協力隊って何をするの?大変じゃないの?JICAや青年海外協力隊について協力隊経験者と語りましょう。

日時 11月5日(土) 午後2時～4時
 場所 市民情報交流センター(希央台5)
 対象 青年海外協力隊の活動に興味のある人
 ◎参加費無料。申込不要
 関 青年海外協力隊三重県OB会(竹尾)
 ☎ 64-4453

次号予告
青空市をご紹介します

市民意識調査の結果がまとまりました **名張での暮らしを、どう感じていますか？**



平成23年度市民意識調査の結果がまとまりましたので、その一部をご紹介します(全ての項目の結果は市ホームページに掲載)。市では、この結果を基に、名張市総合計画「理想郷プラン」の進み具合を確かめたり、効果的な事業の進め方を検討したりしていきます。

☎ 総合企画政策室 ☎ 63-7389

調査対象…市内在住の20歳以上の人
調査数…2,030人(無作為抽出)
回収率…45.6%(926人/郵送による回収)
調査期間…4月29日～5月19日

Q. 名張市の住みごこちは？

8割の人が「住みよい」

● 昨年度と比べ「住みよい」は、5.6ポイント増

名張市の住みごこちについて、「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と答えた人は合わせて83.4%。昨年度と比べ、20歳代、50歳代、65歳以上で平均9.8ポイント上回りました。

Q. 地域の医療体制に満足？

3分の2の人が「不満」

● 昨年度と比べ「不満」は、1.4ポイント減

地域医療機関(開業医や公立病院など)での現在の医療体制について、「やや不満」「非常に不満」と答えた人は合わせて65.3%。昨年度と比べ20歳代で13.5ポイント増えました。

Q. 災害に対する備えは？

3分の2の人が「備えていない」

● 昨年度と比べ「備えていない」は、1.8ポイント減

「日ごろから、地震などの災害に対し備えを行っているか」を聞くと、「あまり備えをしていない」「まったく備えていない」と答えた人が合わせて62.5%。昨年度と比べ、20歳代で17.1ポイント減りました。

Q. 差別解消の取組みをしたい？

7割の人が「取り組みたい」

● 昨年度と比べ「取り組みたい」は、4.6ポイント増

あらゆる差別を解消するため、「自らができることを考え取り組みたい」「どちらかといえば、考え取り組みたい」とする人が68.1%。昨年度と比べ20～50歳代で平均12.9ポイント上回りました。

Q. 子育て支援施策に満足？

6割の人が「満足」

● 昨年度と比べ「満足」は、2.7ポイント増

市内の保育施設や子育てサービス、相談窓口などの子育て支援施策について、「十分満足」「一応満足」と答えた人は合わせて56.5%。昨年度と比べ20～40歳代で平均12.3ポイント上回りました。

Q. 省エネルギーを心がけていますか？

9割の人が「心がけている」

● 昨年度と比べ「心がけている」は、0.4ポイント減

日常生活で省資源・省エネルギーを心がけているかの問いに「心がけている」「どちらかといえば心がけている」と答えた人は合わせて90.3%。しかし、20歳代で74.6%と低くなっています。

Q. 公共交通など市内の交通環境は？

6割の人が「不満」

● 昨年度と比べ「不満」は、1.4ポイント減

市内の交通環境について、「やや不満」「非常に不満」と答えた人は合わせて57.3%。昨年度と比べ60～64歳で11.9ポイント増えましたが、65～74歳で11.1ポイント減りました。

Q. 小中学校の教育環境に満足？

6割の人が「満足」

● 昨年度と比べ「満足」は、2.1ポイント増

市内小中学校の教育環境について「十分満足」「一応満足」と答えた人は合わせて59.6%。昨年度と比べ小中学生の保護者で4.8ポイント上回りました。また、年齢別では、40歳代で14.0ポイント上回りました。

Q. 市の情報提供や広聴制度に満足？

7割の人が「満足」

● 昨年度と比べ「満足」は、3.8ポイント減

市の情報提供や広聴制度について、「十分満足」「一応満足」と答えた人は合わせて69.0%。特に、75歳以上で79.0%と高くなっています。しかし、昨年度と比較すると、全ての年代で下回りました。

広告

広告

新屋根材「ROOGA」ショップ
ルーガ(クボタ松下外装)

かわら しょう **免勝**

太陽光発電システム
雨漏り修理から葺き替えまで
屋根に関するあらゆる相談
外装リフォーム全般OK

〒518-0752 名張市蔵持町原出581番地
電話(0595)61-2204
FAX(0595)62-0250
E-mail katsuoshi@kawarasho.jp
http://www.kawarasho.jp

一級建築士 生産専攻建築士 岩見 勝由

見積り点検 無料! 実績と信頼ワンランク上の安心

公共下水道・集落排水への切替工事
水廻りから、暮らしをもっと快適に

三重県知事許可(管工事業・建築工事業)
名張市指定工事店

TEL: 63-2525

〒518-0734 名張市黒田1414-2

見積り無料! お気軽にご相談ください

バリアフリー・耐震補強など、リフォーム工事も掛け賜ります

住宅設備・増改築
設計・施工
FUKUTA

超ひかりTVで
簡単・安心のデジタルライフを!!

大阪デジタル放送視聴可能
今のテレビがそのまま使える
地上・BSアンテナ不要

株式会社 アドバンスコープ 0595-64-7821

感動のリフォーム! 地元職人直営専門店

株式会社 職人大学 RUN.Net

日本建築塗装職人の会
名張 塗替え太郎 本舗

ご相談窓口 0120-6853-40

□ 本店: 三重県名張市つつしが丘南8番町175 □ Eメール: rehome.d@gol.com (24時間受付OK)
□ FAX: 0595-68-5344 (24時間受付OK) □ H P: http://www.syokunin-daigaku.net